# 自動運転のフレームワークドキュメント及び国際基準検討体制

国土交通省
【別紙３】

○ 2019年6月の国連WP29（自動車基準調和世界フォーラム）において、日本が米国・欧州等と主導して作成した自動運転のフレームワークドキュメント（自動運転車の国際的なガイドラインと基準策定スケジュール等により構成）が合意された。
○ また、具体的な基準策定を進めるために、データ記録装置や自動運転に求められる機能に関する要件を検討する会議体が新たに設置されるなど検討体制の拡充にも合意されたところ。
○ 日本としては、新たに設立された会議体においても共同議長等の役職を担うなど、引き続き自動運転の国際基準作りにおける議論を主導していく。

## 自動運転のフレームワークドキュメントの概要

**●自動運転車の安全目標**

「許容不可能なリスクがないこと」、すなわち、自動運転車の走行環境条件において、自動運転システムが引き起こす人身事故であって合理的に予見される防止可能な事故が生じないこと

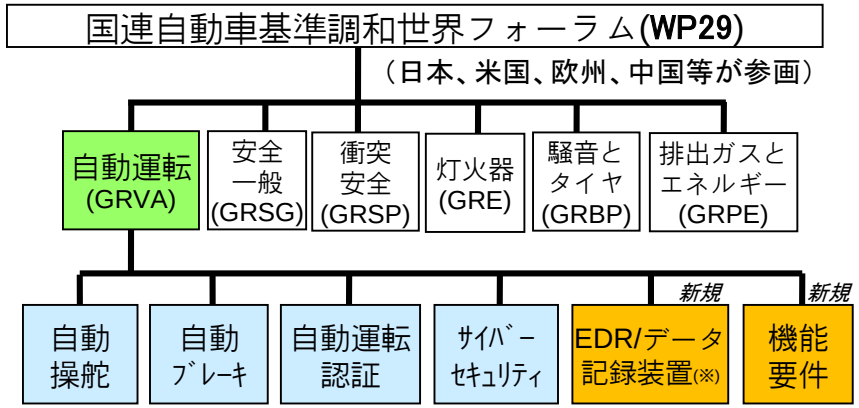
**●具体的な項目**

| | |
|---|---|
| A | 自動運転システムの安全性 |
| B | フェールセーフ対応 |
| C | HMI、ドライバーモニタリング |
| D | 対象物・事象検知 |
| E | 走行環境条件 |
| F | 自動運転システムの安全性能確認手法 |
| G | サイバーセキュリティ |
| H | ソフトウェアアップデート |
| I | イベントデータレコーダー（EDR）とデータ記録装置 |

**●主な基準策定スケジュール**

2020年3月までに、高速道路における自動車線維持走行（レベル3）の基準案を作成

## 自動運転技術に係る国際基準検討体制




| 自動運転技術に係る主な会議体 | | 日本の役職 |
|---|---|---|
| | 自動運転専門分科会（GRVA） | 副議長 |
| | 自動操舵専門家会議 | 議長(独と共同) |
| | 自動ブレーキ専門家会議 | 議長(ECと共同) |
| | 自動運転認証専門家会議 | 議長(蘭、加と共同) |
| | ｻｲﾊﾞｰｾｷｭﾘﾃｨ専門家会議 | 議長(英と共同) |
| 新規 | EDR/データ記録装置専門家会議 | 議長(蘭、米と共同) |
| 新規 | 機能要件専門家会議 | テクニカルセクレタリ |

※EDRの担当であるGRSGと、データ記録装置の担当であるGRVAでの合同会議体として運営される